

令和8年度 学校自己評価システムシート (県立熊谷女子高等学校)

目指す学校像	自主自律の精神と豊かな人格を育み、新しい時代をリードする心身ともに健康な生徒を育成し、生徒の第一志望の進路実現を果たす進学校。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 自ら設定した課題に主体的に取り組む「学びのマネジメント力」の育成を図り、「授業力の熊女」として県指定事業等を活用した質の高い教育を一層進め、生徒の学力を伸長する。 ICTやDXを活用した個に応じた最適な学習環境を提供するとともに、幅広い可能性をもった生徒に第一志望を実現させ、生徒がウェルビーイングや達成感を実感できる進路指導を行う。 地域や地元自治体との連携の下、地域にオープンな学校づくりを進めるとともに、地域の教育や文化の発展に貢献する「地域期待の進学校・熊女」として、積極的な情報の発信を行う。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標			年 度 評 価 (令 和 年 月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<p>【現状】 観点別評価に係る評価内容・評価規準をシラバスに記載し生徒・保護者に公開し「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を把握できている。学習評価を活用し、3年生になるにつれ学びの改善率が上がっている。</p> <p>【課題】 学びの質的改善を図るためには、中長期にわたり計画的かつ主体的に自ら学びを進め、着実に学力を伸ばしていく必要がある。</p>	主体的に取り組む意欲を伸ばし、学びの質的改善を推進する	<ol style="list-style-type: none"> 生徒手帳と統合したシステム手帳を有効活用し、計画的かつ主体的に学習を進める習慣づくりを行う。 学習評価を活用した振り返りの機会を随時設け、自らの学習状況を把握させる。 「駿台サテット」を効果的に活用させ、学びのマネジメント力を育成する。 学際 NEXT 事業等を活用した主体的・探究的な学びの実践を図る。 関東地区 SSH 指定女子高校研究協議会等に参加し、他校生との交流及び大学と連携した科学分野の最先端の学びを実践する。 	<ol style="list-style-type: none"> 自分の生活習慣や時間の使い方についての肯定的な評価割合 85%以上 学習評価を活用した生徒の学びの改善率 85%以上 「駿台サテット」の質問アプリ利用状況の向上(前年度比) 地域・外部機関と連携した探究活動の肯定的な評価割合 85%以上 大学等と連携した活動に参加した生徒の満足度 85%以上 		
1	<p>【現状】 授業力の向上に全体で取り組み、その手ごたえを教員自身が感じていることが日々の授業の質を高めるモチベーションとなっている。</p> <p>【課題】 進路情報の提供や学習支援に継続的に取り組むとともに、自らのキャリアをデザインする力を伸ばし、挑戦する意欲を育て、第一志望を譲らずに最後まで取り組ませたい。</p>	「授業力の熊女」と自他ともに認める教育を推進する	<ol style="list-style-type: none"> 教員相互の授業見学や、授業研究会等による授業の質的向上を果たす。 iPad を活用した教材作成や情報の提供を行うとともに生成 AI の効果的な活用方法を積極的に学ぶ。 教科内での情報共有はもちろんのこと、教科横断的な視点で深い学びができるようにする。 効果的な教材研究や教材開発について研究する。 	<ol style="list-style-type: none"> 教員同士の学びあい・授業改善の手応えあり 80%以上 ICT を活用した授業づくりの充実に向けた研修会・情報共有の実施 教科横断的な学びの機会の創設 生徒の実態把握に基づく教材解釈を行い、教材の教育的価値の明確化が図れたと回答した教員の割合 80%以上 		
2	<p>【現状】 進路指導部と学年が連携し、「第一志望を諦めさせない」指導を組織的に行っている。国公立を含めた難関大学を挑戦しようとする生徒がいる一方で、学習に対する姿勢が積極的ではない生徒もいる。</p> <p>【課題】 ICT を活用した効果的な学習支援を図るとともに、自らのキャリアをデザインする力を伸ばし、挑戦する意欲を育て、第一志望を譲らずに最後まで取り組ませる必要がある。</p>	キャリアを自ら拓く力の育成と第一志望を諦めさせない指導を徹底する	<ol style="list-style-type: none"> 地方国立大学説明会をはじめとする大学説明会・分野別説明会等を計画的に実施する。 効果的な進路情報の提供を通じキャリアを開拓する力を育成するとともに、高みを目指し、第一志望を諦めない指導を行う。 補習授業や「オンライン連携講座事業」「駿台サテット」等、多様な学びの選択肢の中から自分に合った学びを主体的に選択できる力を育成する。 模擬試験の計画的な実施とその組織的分析に基づき、個に応じた的確な進路指導を実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> 各種説明会後の生徒アンケートで肯定的回答 90%以上 進路だより等による年間 90 回以上の情報発信 夏季補習授業・オンライン連携講座事業への参加者数の維持(昨年度実績のべ 2332 人) 第1志望・準第1志望への進学実績の向上(前年度比) 		
3	<p>【現状】 学校の魅力や生徒の頑張りを積極的に発信するとともに、伝統ある進学校として地域からの評価・信頼を得ている。</p> <p>【課題】 生き生きと活動する生徒の姿を小学生や中学生・地域に公開し、評価を高め、生徒募集に活かす必要がある。地元から他地区への流出を減らす努力を継続したい。</p>	地域連携・PR活動により熊女の魅力を発信し、学校全体で生徒募集の充実を図る	<ol style="list-style-type: none"> 学校 HP の更新・充実と、公式 Instagram による学校の魅力を積極的に発信する。 学校説明会・学校見学会の工夫改善、さらには地域との連携、PR活動の強化による生徒募集活動の一層の充実を図る。 地域連携やボランティア活動をさらに充実させる。 多様な国際交流事業を積極的に推進する。 	<ol style="list-style-type: none"> 学校 HP の更新週5回以上、公式 Instagram のフォロワー数の増加 10 月時点での中学生の進路希望状況の改善(前年度比) 地域連携、ボランティア活動の実施回数の増加(前年度実績 24 回) 国際交流事業参加生徒の満足度 90%以上 		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	